

ひよこ組

【11月の保育のねらい】

- ・這う、歩く、よじ登る、くぐるなど全身を使った遊びを十分に楽しむ。
- ・要求をしっかり受け止めてもらい、安心して自分の気持ちを出していく。



<さらに活発になってこんなことができるよ!>

運動会では初めての経験でびっくりして泣いてしまうこともありましたが、お父さんやお母さんと一緒に一生懸命ゴールを目指す可愛い姿を披露することが出来ました。“バナナくんたいそう”は大勢の人の前ではじっと見ていることが多かったこともたちも、クラスでは担任が踊る姿を真似しながら手を左右に動かしたり、体を揺すったりして笑顔で楽しんで“もう一回と催促して踊っています。

普段の生活では斜面を作っていると歩行やハイハイ、ずりばいなどでやってきて斜面の登り降りを楽しんでいます。最初は慎重に登ったり、怖がる表情を見せていましたが一度体験し慣れてくると、一人でもてっぺんまで登り、滑って降りたり、後ろ向きで降りたり出来るようになってきました。また、テラスに出て遊ぶ時にはハフ車を出して遊んでいます。初めて見たときにはなかなか興味を示しませんでした。保育者が遊び方を見せたり、一緒に手を持って動かして遊んだりするうちにまたがってみるだけでなく足で床を蹴り、後ろに前に進めるようになってきました。色々な遊び、遊具を使って楽しむ中でハイハイ、伝い歩き、歩行などの移動運動でたっぴり体を動かしています。

りす組

【11月の保育のねらい】

- ・季節の自然に触れながら探索を楽しむ。
- ・自分で散歩後、意欲的に手を洗おうとする。

<みつけた!>

秋になり、お散歩が再開しました。「みつけた!」「どんぐりあったよ!!」と公園での秋らしい木の実や虫探しを楽しんでいます。お気に入りの帽子とポシェットを身につけ、見つけたどんぐりを大切にポシェットに入れていきます。「○○ちゃん、どこにどんぐりあったの?」「一緒に探そうよ」とお友だちと一緒にどんぐりを探す姿もあります。見つけると「あった!」「みてみてー!!」と誇らしそうに見せてくれて、「大きいどんぐりあったね」と声かけると「もっと探すの」「パパとママに見せてあげる」と夢中になってどんぐりを探しています。たくさんどんぐりを拾い、持ち帰るこどもたち。カップにどんぐりを入れて、遊んでいる時や着替える時など肌身離さず持ち歩いています。そんなこどもたちの姿を見て私たちも、嬉しかったのかなと感じます。天気の良い日は、たくさんお散歩に行き、新しい発見や楽しい遊びをしていきたいと思えます。



ちゅうりっぷ組

【11月の保育のねらい】

- ・氷鬼やしっぽ取りゲーム等ルールのある遊びを通して集団で遊ぶ楽しさを知る。
- ・秋の自然に興味を持ち、どんぐりや落ち葉などを取り入れて遊ぶ。

<公園大好き>

10月に入り、散歩に行く機会が増えてきました。「お散歩に行こう」と声をかけると、「葉師公園で鬼ごっこかくれんぼがしたい」「平和の森公園に行きたい」等やりたいこと行きたい公園を伝えてくれます。散歩中「なんかいいにおいがする(キンモクセイ)」「柿があるよ、おいしそうだね」と少しずつ季節の変化を感じているようです。公園に着くと早速木の実や落ち葉を拾ったりしています。

また鬼ごっこやかくれんぼをやりたいという子が多く、「かくれんぼやる人」というと集まってきます。じっと隠れるのは難しく、すぐに出てしまう子もいますが「もーいーかーい」「もーいーよ」「見つけた」のやり取りが楽しいようです。少しずつ氷鬼やしっぽ取りゲームもやっていきたいと思えます。



うさぎ組

【11月の保育のねらい】

- ・秋の自然物を探したり触れたりして楽しむ。
- ・保育者や友だちと言葉のやりとりを楽しむ。

<キンモクセイに夢中>

夏前の路地散歩や道中、公園で「タンポポがあった!」「これはアサガオだね!」と自分のマークの花を見つけると嬉しそうに教えてくれていたこどもたち。日に日に色が変わったり、枯れていく変化にも気づいたり花探しを楽しんでいました。秋になり、キンモクセイの花が咲くと、「オレンジの花だね!」「あれなあに?」と今までなかった花に気づき興味深々。「下にいっぱい落ちてるね!」「なんか匂いがする!」と視覚、嗅覚で発見を楽しんでいます。公園では小さい花を一つ一つ集めポシェットの中に入れる子、かき集めて両手いっぱいにする子、丁寧にどんぐりの帽子の中に集める子など、今しかできないキンモクセイ集めを存分に楽しんでいます。キンモクセイの他にも秋ならではの発見はたくさん。どんぐりに色鮮やかな木の実、虫もたくさんいます。一緒に探索、発見、驚き、疑問など共有し、秋のお散歩を楽しんでいきたいと思えます。



さくら組

【11月の保育のねらい】

- ・秋の自然に触れ、思いきり体を動かして遊ぶ。
- ・多様な感情や葛藤を経験しながら友だちと心を通わせる。

<鬼ごっこ大好き>

最近はやりたい子同士「鬼ごっこする人この指とまれ」と言い、4~5人で遊ぶ姿が増えてきました。「鬼決め、鬼決めだれが鬼じゃないかな(鬼になるのかな)」と唱え、この言葉で鬼決めに始まります。出した足の順番にスムーズに進まず鬼決めが上手いかなかつたり、また鬼が多くてすぐに終わってしまった、鬼が少なくて捕まらないなどやりながら気づき始め声を出すようになってきました。鬼の数もやっている子の人数を見て考えながら何人がいいか言う子もでてきました。また、それと同時に自分ルールを作ってしまう、ケンカになってしまうこともあります。そんな時は、保育者が入りこどもたちが解決できるように話を聞いています。ケンカをしながらでもやっぱり鬼ごっこが大好きなこどもたちです。



もみじ組

【11月の保育のねらい】

- ・植物や気候などの自然にふれ、秋の深まりを感じながら、制作や戸外遊びを楽しむ。
- ・友だちと思いを伝え合い、工夫しながら生活する。

*クラスのエピソードは前面参照。